

SDG s に関する施設維持管理 (FM) 手法の思考

SDG s は 17 の目標として定め、経済・社会・環境の三側面をつなぐ総合的取り組みである。

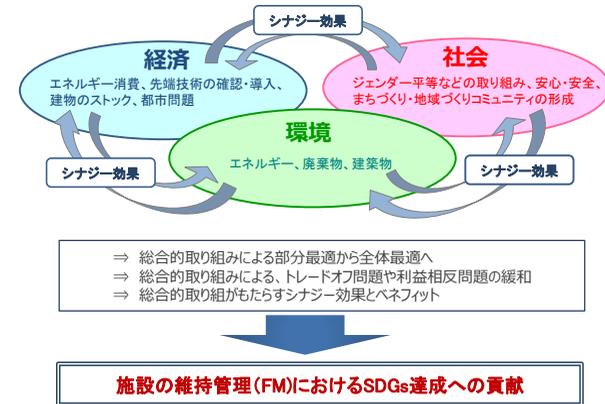
そこで目標「11、住み続けられるまちづくりを」「12、つくる責任つかう責任」「17、パートナーで目標達成しよう」に着目し、建物を対象に考えた場合、様々な立場（施主・設計・施工・維持管理）を統括する事からSDG s の目標の達成への道筋が出来ると思われる

これらを維持管理者の立場の視点からの思考の概要述べる

令和2年日本環境管理学会研究発表会 ビルメンテナンス現場セクション

東京美装興業株式会社 技術部 顧問 安藤秀徳 (アソ ヒデノリ)
ファシリティマネジメント部 森下克也 (モリシタ カツヤ)

施設の維持管理 (FM)におけるSDGs達成への貢献

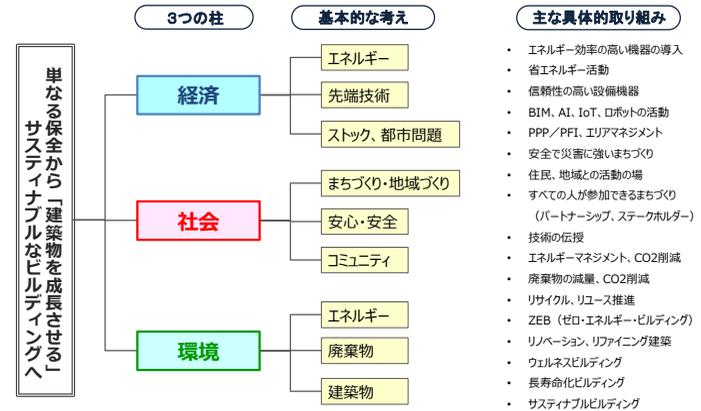


SDGsの17ゴール ~ FM的視点から関係が深いゴール

17のゴールをFM的視点からみると、「11.住み続けられるまちづくりを」、「12. つくる責任 つかう責任」、「17. パートナースHIPで目標を達成しよう」が関係が深いキーワードを含んでいると考える。

1. 貧困をなくそう	10. 人や国の不平等をなくそう	11. 住み続けられるまちづくりを
2. 飢餓をゼロ	11. 住み続けられるまちづくりを	12. つくる責任 つかう責任
3. すべての人に健康と福祉を	12. つくる責任 つかう責任	17. パートナースHIPで目標を達成しよう
4. 質の高い教育をみんなに	13. 気候変動に具体的な対策を	
5. ジェンダー平等を実現しよう	14. 海の豊かさを守ろう	
6. 安全な水とトイレを世界中に	15. 陸の豊かさを守ろう	
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに	16. 平和と公正をすべての人に	
8. 働きがいも経済成長も		
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう		

施設の維持管理 (FM)におけるSDG s (ビジョン) 達成に向けた取り組み



建築とは

「建築」とは、「目的とする環境空間を、一貫した思想の基に、適切に企画、設計、施工し」初期性能が確保された空間をつくり、その初期性能「建築の質」を維持するとともに、その空間の使い方、仕組みを社会の変化に適応させつつ、社会組織に共有された価値観を将来にわたり保持するための統一かつ計画的に建築物を守り育て、その質を成長させるための一連の諸活動である。



4

パートナーシップで目標達成のための各役割区分（設計者・施工者・所有者・維持管理者）

- 設計者の責務と役割は
- 施工者の責務と役割は
- 所有者の責務と役割は
- 維持管理者の責務と役割は



5

維持管理者の責務と役割

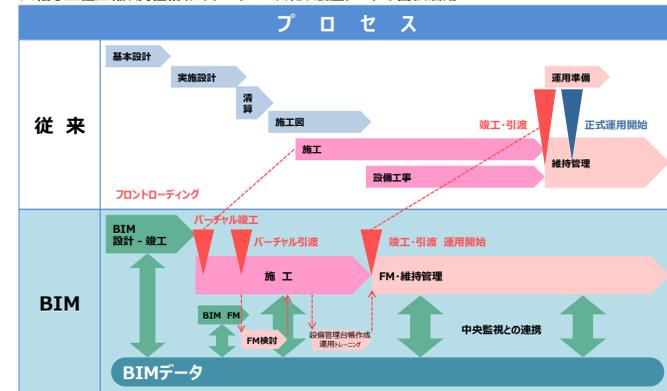
- 施主、所有者、設計者、施工者に維持管理の理念を説明できる。
- 維持管理設計に即して、ライフサイクルを踏まえた中長期的な計画の基に維持管理する。
- 維持管理を考慮し、建築物と設備の必要な部位に維持管理機能を高める手段を取入れる。
- 地球環境負荷低減を意識した維持管理の技術開発に努める。
- 維持管理データを分析し、企画、設計、施工へのフィードバック・フィードフォワードする。
- 維持管理の質向上に努めるため、自己評価を行い、改善提案につなげる。



6

BIM 建築生産革命をFMにつなげる

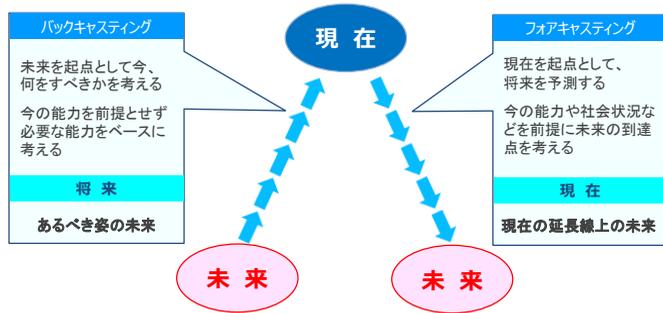
大幅な工程圧縮、属性情報のデータベース化、履歴データの蓄積活用



7

SDGs達成は「バックカスティング」で推進する

今までできることではなく、「あるべき姿に到達するために何をすべきか」を起点に、これまでとは異なった破壊的創造によって解決策を見出すことが求められている



SDGs目標の達成へのステップ



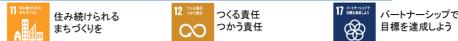
に取り組み目標達成のステップは



一企業、一団体だけではSDGsのインパクトは大きくできない

企業・組織等の枠組みを超えての情報・技術や知識を持ち寄り、新技術等を検討・思考し、新商品・サービスを開発する取り組みもSDGsに連携するかたちになる。

連携によってインパクトを大きくする事例



まとめ

SDGsは直接的な利益？でもないし、法的な拘束力もない。しかし、世界の共通言語として「あるべき理想の社会」を描き、様々な取り組みが人類の幸福度増進につながるプロセスを示していると思う。

その意味は、問題が生じたら何とかして解決する。という受け身型から、あるべき維持可能な社会を積極的に構築しようとする理想型追求型であるのがSDGsの特色だと思われる。

FMにおいても、市民社会としての社会課題の解決、より良い社会の構築、社会ニーズの充足を目指す。

「目標追求型イノベーション」に向け目標達成に向かう事が重要である